



地域・家庭・学校を結ぶ学校だより

高台

<https://www.ota-school.ed.jp/magomehigashi-js>



令和6年1月9日
令和5年度第9号
大田区立馬込東中学校

さまざまなことに挑戦しよう

— 生徒のみなさんへ —

松井 圭一

新年あけましておめでとうございます。

令和6年がみなさん一人一人にとってよりよい年になるよう一日一日の自分の生活を充実させていきましょう。

さて、浅草橋にある老舗人形店が、その年に活躍した人をあしらった「変わり羽子板」を毎年製作していることを昨年末のニュースや新聞で知ったも多いと思います。

昨年令和5年度の「変わり羽子板」に選ばれた方は9名（1点の羽子板にお二人が収まっているものもあり、羽子板としては8点）でした。

その9人の中でも、大谷翔平選手と藤井聡太棋士のお二人についてはみなさんもよく知っているはずですよ。

令和5年、大谷翔平選手は日本人初のMLBホームラン王、そしてMLB初の満票でのMVP 2度目の受賞を、藤井聡太棋士は将棋界初の八冠完全制覇を成し遂げました。

お二人とも前人未踏の大偉業を遂げたのですから、「変わり羽子板」のモチーフに選ばれて当然です。



大谷翔平選手が野球を始めたのが小学校3年生、藤井聡太棋士が将棋の手ほどきを祖父母から受けたのが5歳の時だったそうです。

もし、大谷翔平選手が野球を始めていなければ、藤井聡太棋士が将棋を始めていなければ、どうなっていたでしょうか。当たり前ですが、野球を始めることなく超一流の選手になれる人も、将棋を始めることなく八冠制覇をする棋士もいません。生まれながらに野球ができる人も、将棋をさせる人もいません。何をやるにしても誰もがゼロからのスタートです。そう考えると、何か新しいことにチャレンジするのは、人生を大きく変えるきっかけになっているのです。

人には得手不得手（※1）があり、興味をもてるものとそうでないものがあります。ただ、得手不得手や、興味が湧く湧かないかはやってみないことには分かりません。

（※「えてふえて」と読みます／得手「得意」不得手「不得意」）

残念ながら、限られた人生の中で、この世の中の全てのことに挑戦することは不可能ですし、社会人になると仕事のために自分で自由に使える時間にも制約が出てきてしまいます。若ければ若いほどチャンスは広がっているのです。まさに中学生のこの時期は人生を大きく変える何かに出あえるチャンスの時期です。

私は中学校への入学を間近に控えた小学校6年生にお話をする機会があると、「中学校の3年間は自分探しの時期、自分の特性を知り、自分が好きなこと、自分にむいていることは何かを発見してほしい。」というお話をします。

もしかしたら、新たなことに挑戦してそのおもしろさをしたり、自分では気付かなかった自分の特性に気付くことだってたくさんあるからです。



一つ年を取るごとに、チャレンジできる幅は狭まってはきますが、中学校を卒業してからも、挑戦する気持ちさえあれば決して遅いことはありません。シンガーソングライターの来生（きすぎ）たかおさんは20歳の時に、小さな子どもたちが通うピアノ教室に通い、自宅にピアノがないので紙の鍵盤で練習して三ヶ月でバイエルを習得し、その後は独学でピアノを学び、数々のヒット曲を創り上げていったそうです。

あと、数ヶ月で中学校を卒業する3年生のみなさんにもまだまだチャンスはあります。

「好きこそものの上手なれ」という諺がありますが、新しいことに挑戦しても、それが好きでなければ、長続きも上達もしません。

だからこそ、一つでも多くのことに挑戦して、自分に合ったもの、好きなものに出あえるよう努力していくことが、この時期のみなさんの特権なのです。

令和6年は、自分を客観的に見つめ直し、自分の特性に合った何かを見付けられるよう、様々なことに挑戦する一年にしてほしいと思います。



〈 笑顔と学びの体験活動プロジェクト 〉

令和5年12月18日（月）、多様な体験活動を通じて、笑顔になってほしい。心動かされる体験や思い出に残る様々な機会を通じて、前向きな感性を育ててほしいというねらいのもと、東京都が主体となって取り組んでいる「笑顔と学びの体験活動プロジェクト」が実施されました。

当日はアフリカ体験学習コンサート「アフリジャ」が行われ、全校生徒、保護者、地域の皆様が、陽気な音楽に大変盛り上がりました。

いつも使っている本校体育館も前日からの準備で音響、照明がプロの力によってセッティングされ本格仕様となり、生徒も驚いた様子でした。全員立ち上がり、一緒にダンスを踊ったり、一緒に歌ったりと本格的なコンサートを体験することができました。

まさに会場全員が笑顔溢れる時間となり、学期を締めくくる思い出深い時間となりました。



〈 家庭科調理実習 〉

3年生の家庭科の授業で調理実習が行われました。班ごとにマドレーヌを作る実習でしたが、仕上げのチョコレートの大きさに班の特徴が表れていました。真剣な表情の中でも、自然と笑顔が溢れ、班ごと和気あいあいと実習に取り組んでいました。洗い物を率先して行う生徒もいて、日頃の成果を発揮する場面も見られました。味はもちろんとっても美味しかったです。3年生の皆さんご馳走様でした。

